<u>syslog ガイド</u>

(URoad-TEC101)

Rev .1.0

2015.6.18

株式会社シンセイコーポレーション

目 次

1.	文書概要	.3
	1.1 事前準備	.3
	1.2 関連文書及び技術資料	.3
2.	System Log 有効化	.4
	2.1 Web Server 接続	.4
	2.2. Web CU での System Log 機能有効化	.5
3.	Syslog Log 説明	.6
	3.1 SysLog Level	.6
	3.2 Syslog Message	.6
4.	Syslog Log 取得	.7
	4.1 telnet / SSH と通じた接続	.7
	4.2 TFTP を使用した Log 取得	8
	4.3 FTP を使用した Log 取得	.9

修正履歴

Ver.	改訂日付	改訂ページ 及び 内容	
1.0	2015/6/18	新規作成 配布	

syslog ガイド

1. 文書概要

本文書は、端末(UROAD-TEC101)の Syslog 設定及び Syslog Server の使用方法についての文書となります。

1.1 事前準備

- 1. 端末
- -型番: URoad-TEC101
- SW Version: v1.2.1.1 以上の Version
- 2. 条件
- Syslog Server サーバ設置及び運用
- Test 環境: Window 7(32bit), Ubuntu 12.04(32bit)
- Windows Syslog Sever: v1.2.3
- Linux Rsyslog Server: v5.8.6-1

1.2 関連文書及び技術資料

本文書と関連の open source project である Syslog Server に関した資料は次の文書を参照して下さい。

- Windows Syslog Server URL: <u>http://sourceforge.net/projects/syslog-server</u>
- Linux Rsyslog Server URL: <u>http://www.rsyslog.com/</u>

2. System Log 有効化

2.1 Web Server 接続

WEB 設定画面は、URoad-TEC101 内部の Web サーバを基に構成されており、WiMAX/WiMAX 2+への接続が なくても使用できます。

Web ブラウザを実行して URL 入力欄に http://192.168.100.254/mgr と入力します。WEB 設定画面に接続す る前に ID と Password を入力するウインドウが表示されます。

http://192.168.100.254/mgr



PCとURoad-TEC101をEthernet又はWi-Fiでの接続が必要です。 端末と接続されたPCのプライベートIPアドレスを自動設定に設定してください。

認証ウインドウが表示されたら、ID/パスワードを入力後、'OK'ボタンをクリックします。

パスワードは、System 設定画面を通じて変更ができます。初期アカウントは下記の通りです。

	ユーザ名	manager				
	パスワード	WPS PIN				
Wind	Windows セキュリティ					
UR ノC	URoad-TEC101 Web CU のサーバー 192.168.100.254 にはユーザー名と パスワードが必要です。					
警 送(警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で 送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。					
● 資格情報を記憶する						
		OK · キャンセル	/			

参考) 認証ウインドウ

2.2. Web CU での System Log 機能有効化

URoad-TEC101 で基本設定→システムログ画面で System Log 機能の有効又は無効を設定できます。





System Log 機能設定は、端末を再起動しても設定は有効です。

Log は端末内への保存及び Syslog サーバへの転送を同時に実行します。 Log 転送をするため には Internet 接続が必要です。

- 1. ログ仕様設定を有効に設定します。
- 2. Syslog サーバがある場合はログサーバ使用設定を有効に設定します。
- 3. サーバドレスに Syslog サーバの IP アドレスを入力します。
- 4. サーバポートに Syslog Server Port を入力します。(Windows Syslog Server デフォルト: 514)
- 5. 適用ボタンをクリックし設定を保存します。設定を保存する場合、URoad-TEC101は再起動します。
- 6. 更新ボタンをクリックし system log を更新します。

3. Syslog Log 説明

3.1 SysLog Level

Syslog level は Linux 標準に定義した Level になります。下記に、URoad-TEC101 に定義された Log Level を 表記します。

Level	Severity	Description
Emergency	0	System is unusable
Alert	1	Action must be taken immediately
Critical	2	Critical conditions
Error	3	Error conditions
Warning	4	Warning conditions
Notice	Notice 5 normal but significant condition	

3.2 Syslog Message

URoad-TEC101 がサポートする Syslog Message は下記となり、LOG 発生時に、端末内部に保存及び Syslog サーバに転送されます。

Category	Item	Severity	Message		
	status	5	WiMAX Modem Status[disconnected]		
WiMAX Modem		5	WiMAX Modem Status[connected]		
		5	WiMAX Modem Status[out of zone]		
		5	WiMAX2+ Modem Status[disconnected]		
Modem	status	5	WiMAX2+ Modem Status[connected]		
hodem		5	WiMAX2+ Modem Status[no network]		
Network	information	5	WAN IP[<i>IP address</i>] G/W[<i>Gateway Address</i>] DNS1[<i>Domain Name</i> Server 1] DNS2[<i>Domain Name Server</i>]		
LITM	UIM status	5	UIM Status[Inserted]		
UIM		5	UIM Status[Not Inserted]		
		5	Software update start.		
	S/W update status	5	v1.0.0.0 software update success.		
S/W Update		5	Software download fail.		
		5	Software update fail.		
		5	Software already latest version.		

1) WiMAX/ WiMAX 2+モデム状態ログ

Connected/Disconnect/OOZ 状態を区別し、WiMAX/WiMAX 2+の接続状態を確認できます。

2) Network 状態情報

WiMAX/ WiMAX 2+網接続時に割り当てられた IP/ GW/ DNS の情報を出力します。

3) UIM 情報

UIM status を出力します。

4) SW update 情報

SW update の実行結果を出力します。 SW update 履歴を確認することができます。

4. Syslog Log 取得

WEB 設定画面で表示される Log は端末の /var/log/messages ファイルに保存されています。 端末から Log を取得するためには、telnet/ SSH にて端末に接続し、tftp や ftp を使用して上記の Log を Local PC に転送することができます。

表示される Syslog は最大 100KByte となり、100KByte に達すると LOG は削除されてしまいますので、Syslog サ ーバに転送するようにしてください。また、Syslog ファイルは、揮発性メモリに保存されるため、端末を再起動した時も削除 されます。

4.1 telnet / SSH での接続

URoad-TEC101とPCを Ethernet または Wi-Fi で接続した状態で WEB 設定画面に manager アカウントにてロ グイン後、基本設定 → 上級設定メニューで telnet / SSH を有効にできます。

URoad-TE		UIM WIFI C	D Client ステータス更新	SHINSEI CORPORATION
	WAN設定	ワイヤレス設定	インターネット設定	ファイアウォール
ssн	上級設定		上級設定	
SSH Tehet Tehet	【有効 ▼ 【有効 ▼	適用	SSH SSH SSH (Secure S 遠隔操作する ルです。SSHで 暗号化されて近	Eします。 iHelD とは、ネットワークに接続された機器を こめに使用するアプリケーション層のプロトコ はがスワード情報を含めて全てのデータが 送信されます。
			●Tehet Telnet機能を割 Telnetとは、ネ ために使用する Telnetではいな れずに送信され	定します。 ットワークに接続された機器を逮騙操作する らアブリケーション層のブロトコルです。 にワード情報を含め全てのデータが暗号化さ します。

その後、Teraterm などのターミナルプログラムを利用して URoad-TEC101 に接続できます。



4.2 TFTP を使用した Log 取得

TFTP で Log を取得する手順は以下の通りです。

- 1) URoad-TEC101とLocal PCを Ethernet または Wi-Fi で接続します。
- 2) 接続された PC で TFTP サーバを起動します。

🗞 Tftpd32 by Ph.	Jounin				
Current Directory Server interfaces	Current Directory Y:\tftp Server interfaces 192.168.100.100				
Tftp Server Tftp Client DHCP server Syslog server Log viewer					
peer	file	start time	progress		
•	III		Þ		
About	Settings		Help		

3) URoad-TEC101 に接続されたターミナルプログラムで、tftp コマンドを使って Log ファイルを PC 側に転送ができます。

tftp -p -l [filename] [TFTP Server IP]



上記のコマンドで "/var/log/messages" がサーバへの転送ファイルで、"192.168.100.100" は URoad-TEC101 に接続された Local PC(起動中の TFTP サーバ)に割り当てられた IP です。 コマンド実行時、TFTP サーバが指定したフォルダに Messages ファイルが生成されます。

4.3 FTP を使用した Log 取得

FTP で Log を取得する手順は以下の通りです。

- 1) URoad-TEC101とlocal PCを Ethernet または Wi-Fi で接続します。
- 2) 接続した PC で FTP サーバを起動します。
- 接続されたターミナルプログラムで、下の ftpput コマンドを使い Log ファイルを PC 側に転送ができます。
 ftpput -v -u [username] -p [password] [FTP Server IP] [server filename] [local filename]



上記のコマンドで "username"と"password"は FTP サーバで設定した情報で、"192.168.100.100"は URoad-TEC101 に接続された PC(FTP サーバが駆動中の)に割り当てられた IP です。

コマンド実行時、URoad-TEC101の /var/log/messages ファイルが伝送され、FTP サーバが指定したフォルダに Messages ファイルとして生成します。